

### 【第2回公開講座 そのときどうする？防災の基礎を学ぶ】

令和4年8月27日土曜日の14時から16時まで、浦添市てだこ市民大学第2回公開講座「そのときどうする？防災の基礎を学ぶ」が実施されました。NPO 法人 防災サポート沖縄 理事長の長堂政美氏より、「最強クラスの台風への備え」の講演と、NHK沖縄放送局の田島千明氏より、「NHKニュース・防災アプリのご紹介」の講話を賜りました。



### 【最強クラスの台風への備え】

長堂政美氏より、暴風特別警戒警報や大雨特別警報などが発令される基準や過去に起こった台風被害状況などの説明がなされました。なかでも、看板やプレハブ、トタンなどの飛散物によって、二次被害が生じる可能性が指摘されました。それゆえ、最強クラスの台風対策として、暴風来襲以前と、暴風時、暴風後という3つの段階にわけて、それぞれの対策方法についての解説がありました。暴風来襲以前においては、窓ガラスの目張りや、プレハブ・トタン・看板などの固定、側溝の掃除、非常用持出袋の準備、避難所や高齢者・障がい者の共助についての確認があげられます。



暴風時においては、飛散物などによって自宅の窓ガラスが破壊された場合に対応することが求められます。また、自動車や建物のドアを開けるときに指が挟まれたり、ドアが損傷したりすることがありますので、注意が必要です。暴風が収まって太陽の日差しを感じたとしても、高潮や濁流に飲み込まれてしまうこともありますので、海岸や河川などに行かないことが重要です。この解説のなかで、暴風後の対策があるとは



知らなかったという感想もありました。また、防災グッズの内容と使用方法などについての解説もありました。さらに、高齢者や障がい者を対象とした「災害時避難行動要支援者避難支援」に関する情報収集や、事業所と自主防災組織との防災協定締結の重要性、避難所の自主運営と開設キットの概要など、日頃からの対策に関する解説がありました。

NHK沖縄放送局の田島千明氏より、日頃からアプリを活用することで、正確な情報を収集し「命を守る行動」に繋げてほしいと説明がありました。

#### ＼ 受講者からの声／

• 防災グッズについては、地域公民館等への出前講座が必要と思いました。（生活しているところでお話したほうが効果的。）

- 避難所開設について「住民が主人公（自主運営）」という言葉が印象的でした。
- あらためて、自分たちでできる防災を考えるきっかけになり、とても勉強になりました。

次回の講座は・・・

「浦添の悠久の歴史  
歴史・文化でまちづくり！」

11月26日(土)14時～16時